



「平成30年度全国高校生伝統文化フェスティバル ー伝統芸能選抜公演ー」

概 要

(1) 開催日 平成30年12月16日（日） 開場11時 開演13時 （終演予定16時30分）

(2) 会場 京都コンサートホール・大ホール
（京都市左京区下鴨半木町1番地の26 TEL:075-711-2980）

(3) 大会テーマ 「大切にしたい日本のこころ」

(4) 主催 文化庁、京都府、京都府高等学校文化連盟

(5) 内容

・開会式

プロローグ （狂言 京都府立嵯峨野高等学校）

歓迎プログラム （和太鼓 京都橘高等学校）

古典の日朗読コンテスト優秀者発表

・全国校公演

○郷土芸能部門 岩手県立北上翔南高等学校「鬼剣舞」

秋田県立由利高等学校「秋田民謡」

新潟県立羽茂高等学校「佐渡民謡」

沖縄県立南風原高等学校「琉球舞踊」

日本福祉大学付属高等学校（愛知県）「和太鼓」

○日本音楽部門 静岡県立三島北高等学校「箏曲」、徳島県立城東高等学校「邦楽合奏」

○吟詠剣詩舞部門 長野県高等学校文化連盟 吟詠剣詩舞部門「吟詠剣詩舞」

※出演順は未定

・フィナーレ

会場合唱「ふるさと」 揮毫メッセージ：京都府立洛西高等学校

(6) 併催イベント

・交流呈茶：茶道フェスティバル参加の全国の茶道部

・優秀作品展示：京都府内の美術・工芸、書道、自然科学、写真等各専門部

・特別支援学校作品展示：京都府内の特別支援学校

・会場迎え花：京都府立鴨沂高等学校、龍谷大学付属平安高等学校、
京都光華高等学校、ノートルダム女学院中学高等学校

・シンボルフラワー（シクラメン）：京都府立農芸高等学校、京都府立綾部高等学校東分校

おもてなし隊

京都府立北稜高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、京都聖母学院高等学校、京都西山高等学校

京都府内出場校 詳細

1 歓迎プログラム

(1) 狂言 ^{ふねふな}「舟船」

京都府立嵯峨野高等学校 狂言部

昭和16年の創立以来、「和敬清寂」という禅の心を建学の精神とする。平成21年度、京都府の「古典の日」推進事業をきっかけに大蔵流狂言師十四世茂山千五郎先生の御指導による狂言の取組が開始し、平成28年度には狂言部が発足する。毎年12月には能舞台で本格的な狂言会を開催している。今宮神社御旅所能舞台での奉納狂言など、校外での発表機会も多い。



(2) 和太鼓 「京の四季」

京都橘高等学校 太鼓部

太鼓部は1982年に太鼓サークルとして発足。現在は京都橘中学校・高等学校太鼓部として活動。全国高等学校総合文化祭への出場や地元のお祭りへの参加など年間20回程度、外部で演奏を行う。全国高等学校総合文化祭では、2013年に最優秀賞・文部科学大臣賞、2014年に優良賞を受賞している。



2 フィナーレ

(1) 会場合唱

出演校及びおもてなし隊が登壇市、会場一丸となって歌います。

今年の曲目は「ふるさと」

(2) 「こころのメッセージ」(揮毫)

京都府立洛西高等学校 書道部

昭和55年に開校し、本年度で39年目を迎える。「明朗なる真昼の精神」を校是として、文武両道の校風を大切にし、学校に軸足を置いて、生徒一人ひとりが、勉強も部活動も学校行事も頑張るというスタイルを継承している。全国高等学校総合文化祭には5年連続で京都府代表として参加。今年度徳島県で行われた近畿高等学校総合文化祭にも京都府代表として参加した。



3 全体交流会 歓迎プログラム

(12月15日(土) リハーサル後)

(1) マジック&ジャグリングショー

京都府立南陽高等学校 マジック部

南陽高校では、勉学に加え、「部活」「国際交流」「ボランティア」「コンテスト」の4つに力を入れている。今年度より附属中学校が開校し、部活動は中学・高校合同で練習を行う。現在23名がマジック部に所属しており、マジック部門とジャグリング部門に分かれる。年間20回以上の公演を行っており、公演先は地域の子供会やお祭り、老人ホーム、スーパー等様々。イリュージョンマジックを所有している部活動は、数えるほどしかなく、テレビでも取り上げられた。



全国校公演 出場校詳細

1 郷土芸能（伝承系）

おにけんばい

(1) 鬼 剣 舞

岩手県立北上翔南高等学校 鬼剣舞部

平成16年、校名を「黒沢尻南高等学校」から「北上翔南高等学校」とし、男女共学・総合学科高校に改変。鬼剣舞部は、地域に育まれた伝承活動を国指定重要無形民俗文化財「岩崎鬼剣舞」から指導を受けている。日頃の活動として、老人保健施設の慰問や各種イベントへの参加、東日本各地において復興支援活動を実施。また、全国高総文祭優秀校東京公演への出演等も行っている。



【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭 郷土芸能部門 文化庁長官賞 (H29) 出場 (H28)

★鬼剣舞は、岩手県北上地方の農民に伝承する民族芸能で、約1,300年前から始まるとされています。基本踊りで礼舞とも云われている「一番庭」、荒れ狂う武者が乱舞する「八人加護」などを演じます。東日本大震災以来、全国の皆様から励ましをいただいてまいりました。二度とあのような災害がおきないように、私たちの願いを込めて、大地を踏みしめ、力の限り踊ります。

(2) 秋田民謡～舞踊～

ゆり

秋田県立由利高等学校 民謡部

霊峰鳥海山の麓、子吉川が日本海へと注ぐ自然豊かな由利本荘市にある、大正9年に創立された歴史ある高校。民謡部は約半世紀の歴史があり、秋田民謡のみならず、全国各地の民謡にも積極的に取り組んでいる。また、地域のイベントや高齢者施設への慰問活動など地域に根ざした活動を中心に行っており、昨年度は、秋田出身歌手の高橋優さんとのコラボレーション企画や、秋田県観光PRの一環としての台湾公演も行うなど、幅広い活動に取り組んでいる。



【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭 郷土芸能部門 優良賞 (H30・H29)

★1曲目、秋田大黒舞は1年間の家内安全と幸福を祈願して唄い踊られます。2曲目、正調生保内節は秋田県仙北市の生保内地方に伝わる民謡で、かすりにもんぺ、編み笠をつけて踊ります。3曲目、秋田音頭は宴席で踊られるもので、柔術の技を踊りに取り入れたものです。一番のアピールポイントは笑顔です。明るく笑顔あふれた舞踊（まい）をお楽しみください。

(3) 佐渡民謡～芸能と文化の島より～

はもち 新潟県立羽茂高等学校 郷土芸能部

新潟県佐渡島の南部にある全校6クラスの高校。郷土芸能部は、平成18年の発足以来、地域に根ざした活動を行っている。佐渡には、朱鷺の舞う美しい自然と、金山や北前船に代表される歴史があり、その豊かな文化の中で、さまざまな芸能が育まれている。本校は、佐渡島内外におけるお祭りやイベントでの公演を年間20回以上実施しており、全国高総文祭には新潟県代表として12年連続で出場している。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭 郷土芸能部門 出場 (H30・H29) 最優秀賞・文部科学大臣賞 (H28)



★港町小木で船乗りたちを相手にした芸者衆の座敷踊り「小木おけさ」、相撲甚句が佐渡に流れ込み、独自の三味線と踊りが付けられた「羽茂甚句」、フィナーレはもちろん「佐渡おけさ」です。芸能と文化の島、佐渡の素朴で情緒溢れる民謡をお楽しみください。

かんたい (4) 琉球舞踊「歓待の舞」

はえばる 沖縄県立南風原高等学校 郷土芸能部

今年度、開校43年になる本校は、教育目標を「自主・自律」とし、平成6年度より教養ビジネスコース、郷土文化コース、普通総合コースと特色あるコースを設置している。昨年4月には併設校として南風原高等支援学校が開校し、学校行事、部活動、委員会活動をとともに行うなど、インクルーシブ教育も実践している。郷土芸能部は、郷土文化コース設置の頃より活動が盛んになり、教育関係団体のアトラクションや地域の行事など、年間約40回の舞台に立っている。

【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭 郷土芸能部門 出場 (H30)



★かつて沖縄が琉球王国だった頃に、中国からの使節団を歓待した「御冠船踊（うかんしんをうどうゐ）」と称された歌舞について、独自のアレンジを加えながら創作したのが、「歓待の舞」です。この演目は、平成18年度の全国高総文祭京都大会にて、優秀賞・文化庁長官賞を受賞できた思い出の深い演目です。新たなアレンジを加え、発表します。

2 郷土芸能（和太鼓）

かいいい

絆～和太鼓組曲「海嶺」より～

日本福祉大学付属高等学校 和太鼓部

愛知県知多半島美浜町にある創立60周年を迎えた高校。和太鼓部楽鼓は、地域に根ざし、楽しくたたくをモットーに、今年で創部30周年を迎えた。年間の公演回数は30回程度。18年前より地元小学校への和太鼓指導も行っており、東日本大震災被災地での演奏活動も毎年続けている。全国高総文祭には27年連続出場し、最優秀賞2回、優秀賞3回、優良賞6回の計11回受賞。海外公演も6回（イギリス・韓国・中国・台湾・アメリカ等）経験。



【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭 郷土芸能部門 出場（H30） 最優秀賞・文部科学大臣賞（H29） 優良賞（H28）

★和太鼓組曲「海嶺」は、三浦綾子さん著『海嶺』を題材にしています。江戸末期、14歳の音吉は初航海に臨み、5年間世界各地を転々とししました。奇跡的に帰国の機会を得ますが、日本は鎖国時代。音吉らは帰国を断念し、仲間と共に異国で新しく生きる道を選択していきます。共に困難を乗り越えて生まれる「絆」、そして「絆」があるからこそ次の壁にも立ち向かっていける。私達が大切にしているものを、音吉の人生に重ねて表現します。

3 日本音楽

オデュッセイア

（1）箏曲「ODYSSEY」

静岡県立三島北高等学校 箏曲部

明治34年三島高等女学校としての創立以来117年の歴史と伝統を受け継いでいる静岡県東部に位置する高校。平成26年には、文部科学省からスーパーグローバルハイスクールに指定され、グローバルリーダーに必要な能力の育成に努めている。平成17年以来、全国高総文祭に静岡代表として11回出場。また、地域での様々なコンサートに出演し、箏曲の普及に努めている。平成24年度には静岡県の公立高校で初めて、静岡県文化奨励賞を受賞。



【主な実績（過去3年間）】

全国高総文祭 日本音楽部門 文化庁長官賞（H29・H28）

★この曲は未知の航海へ旅立つときの夢と希望、不安と期待、困難の克服と祈りを、多彩な音の重なりで表現しています。スケールの大きな曲であり、神秘的な部分と迫力ある部分で構成されています。様々な技法を駆使し、箏の音色一つひとつに私たちの想いを込めて、主題である壮大な世界観をお届けします。

（２）邦楽合奏「ファンタスマゴリア」

徳島県立城東高等学校 邦楽部

徳島市中心部に位置し、北に清流吉野川、南に万葉集にも詠われた眉山を望む、今年で創立117周年を迎える伝統校。平成26年より文部科学省スーパーグローバルハイスクールに指定され、21世紀を担うグローバル人材を輩出することを目標とする。邦楽部は、「邦楽のオーケストラ」を目指し、多種の楽器を用いた合奏に取り組む。学校行事のほか、老人保健施設への訪問演奏など、活動は多岐にわたる。



【主な実績（過去３年間）】

全国高総文祭 日本音楽部門 出場（H30・H29） 文化庁長官賞（H28）

★長沢勝俊作曲「子供のための組曲」と「人形風土記」から構成された本日の演奏曲は、子供の思考や行動に触れた作者が、生き生きと遊ぶ子供の様子を描いた作品です。約15種の和楽器で10パートを演奏するため、全員で音を合わせるのは難しく、長い時間を要しました。しかし、演奏するたびに充実感が生まれ、音楽を楽しむ気持ちがより強くなりました。本日も全員で力を合わせ、一期一会の気持ちで演奏します。

4 吟詠剣詩舞

構成吟「山脈渡る風に種子を拵げて」

長野県高等学校文化連盟 吟詠剣詩舞専門部

長野県は吟詠剣詩舞のクラブ活動がなく、個人で稽古している高校生が集まって長野県チームを結成。今回は3校、4名が合同で演奏する。平成27年より長野県合同チームとして全国高総文祭に出演している。



【主な実績（過去３年間）】

全国高総文祭 吟詠剣詩舞部門 出場（H30・H29・H28）

★信州といえば北アルプスなどの高い山を思い浮かべる方も多いことでしょう。2018信州総文祭の吟詠剣詩舞部門は8月11日の「山の日」に開催されることもあり、山をテーマに構成吟をまとめました。本県オリジナルの吟、「2018信州総文祭大会テーマ吟」にもご注目ください。

生徒実行委員会を中心にした 京都府の高校生おもてなし

平成30年度全国高校生伝統文化フェスティバルにおいて、おもてなし隊の代表による「生徒実行委員会」を設立。全国高校伝フェスの広報活動を積極的に行うとともに、全国から来ていただく皆さんを京都へお迎えするにあたり、様々なおもてなしを高校生自らが考え、京都ならではの「おもてなし」をします。

● おもてなし隊（舞台運営、会場案内、受付等）

京都府立北稜高等学校、京都府立嵯峨野高等学校、
京都聖母学院高等学校、京都西山高等学校

～京都の高校生が一丸となって、
全国高校伝フェスをサポートする
とともに、おもてなし隊により、
全国の高校生をお迎えします。～

おもてなし隊の高校生は、11月
にプロの接遇アドバイザーから
指導を受けて、当日に臨みます



● おもてなし隊のメンバーの中から「生徒実行委員会」を立ち上げました。

～生徒実行委員会では、本フェスティバルを盛り上げるため、広報活動を中心に
自らの力で考え、昨年度以上の「京都府のおもてなし」を行います。

〈生徒実行委員会〉

委員長	野村	菜々恵(京都府立北稜高等学校)	
副委員長	松岡	愛実(京都府立北稜高等学校)	
	大木	菜美佳(京都府立北稜高等学校)	
委員	小西	正太(京都府立嵯峨野高等学校)	塚本
	猪田	香南子(京都府立嵯峨野高等学校)	愛(京都聖母学院高等学校)
	大谷	涼香(京都西山高等学校)	西地
	浅井	あやか(京都西山高等学校)	碧海(京都聖母学院高等学校)
			藤木
			麻奈美(京都聖母学院高等学校)